



第2回 経営顧問会議

資料2-1

機構の経営改善に向けて

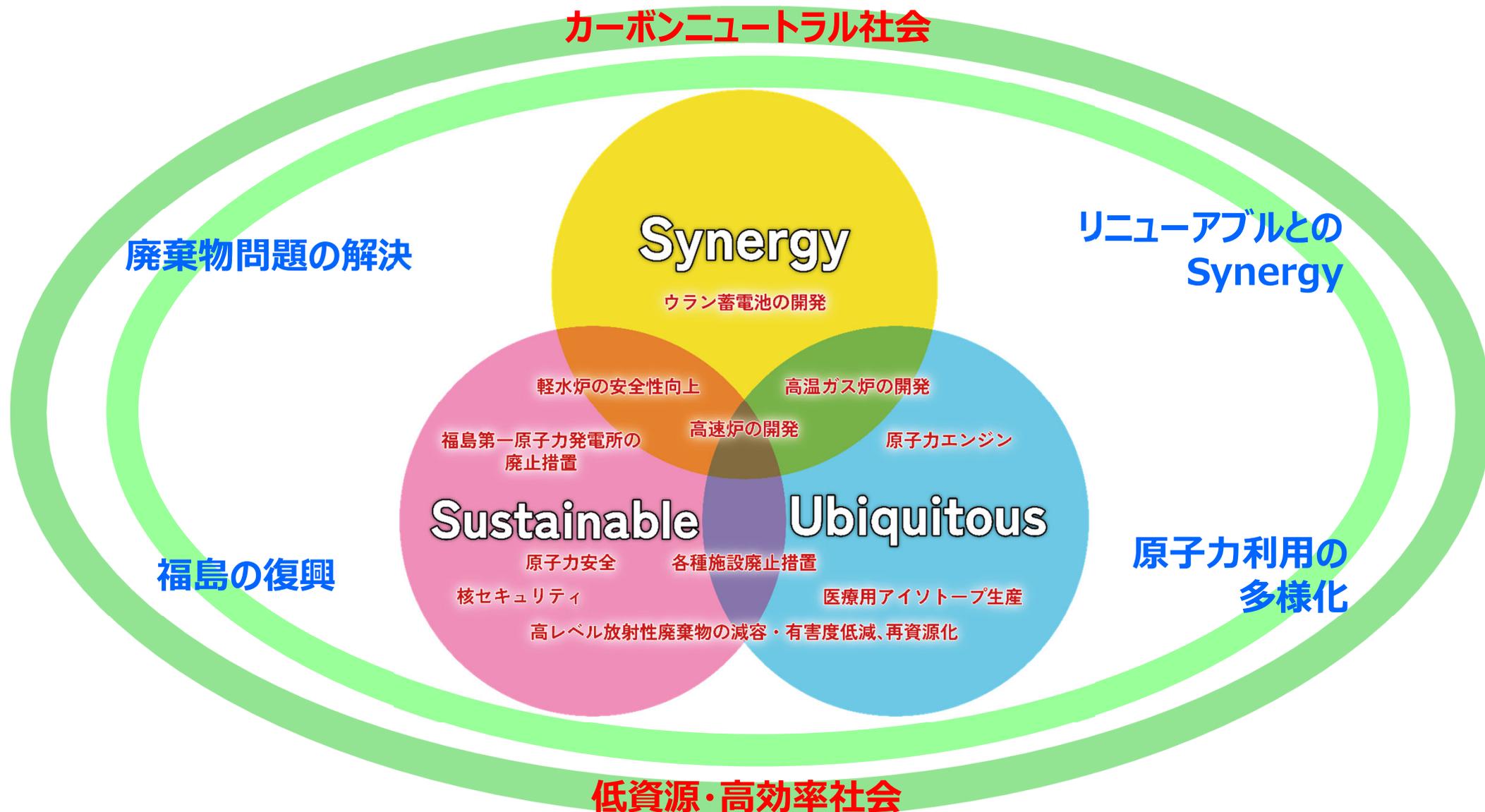
令和6年2月15日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

理事長 小口正範

ビジョンの明確化

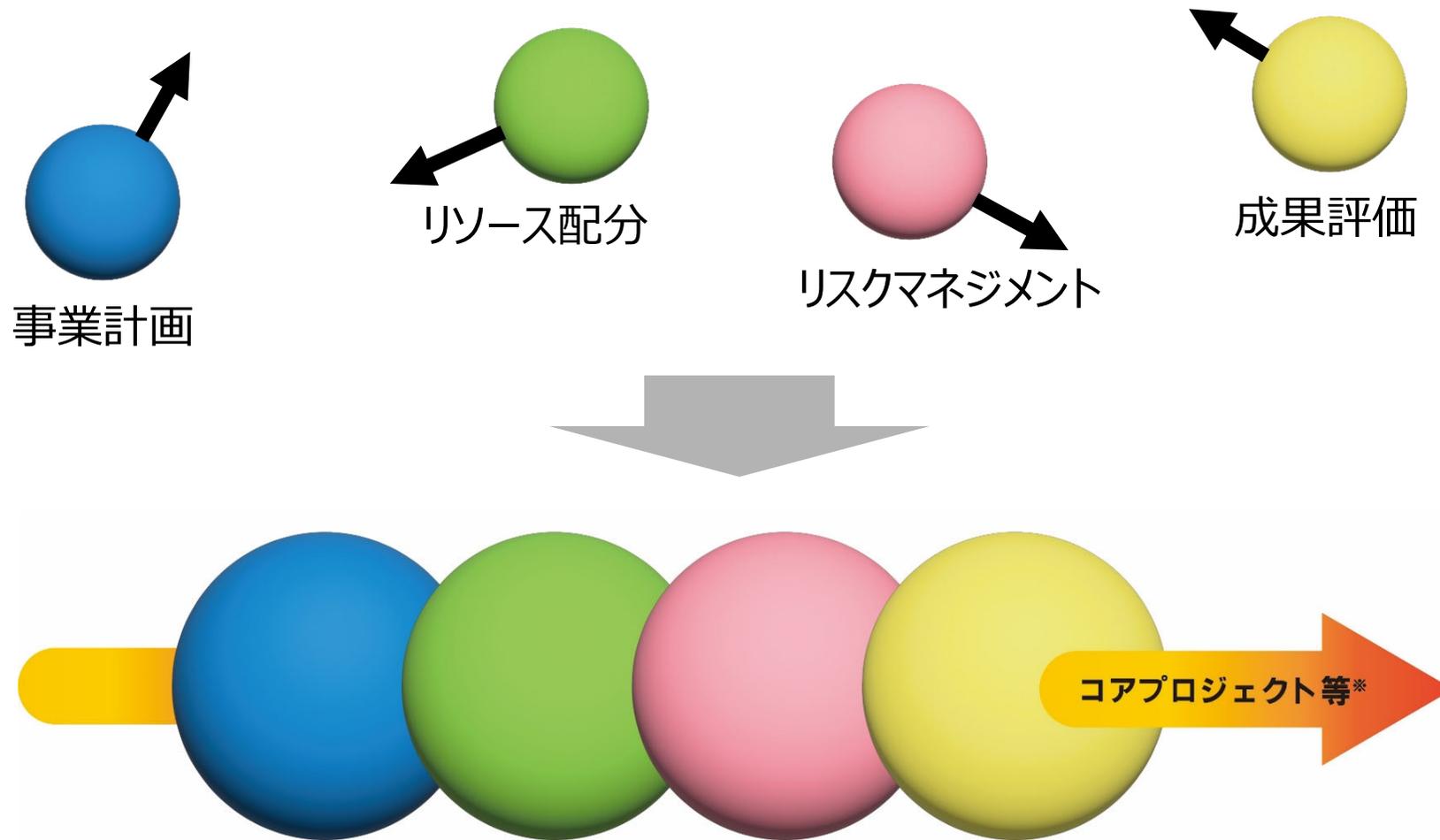
- 昨年4月にビジョン「**ニュークリア×リニューアブル**」で**拓く新しい未来**を策定し、3つの研究開発方針「**Synergy**」、「**Sustainable**」、「**Ubiquitous**」を設定



原子力科学技術を通じて、人類社会の福祉と繁栄に貢献する

マネジメント改革 ～業務プロセスの一体化～

○個別に行っていた業務を経営マネジメントサイクルと一体的に実施して効率性を向上

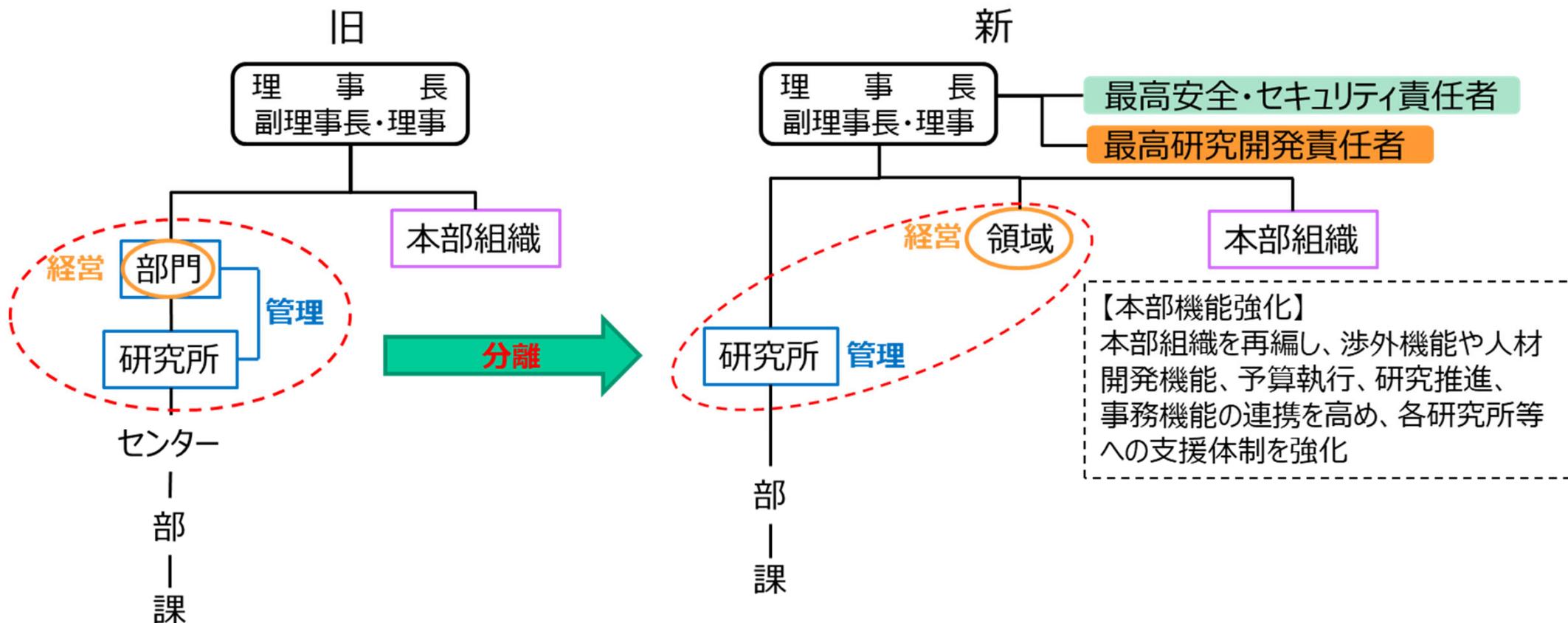


*コアプロジェクト等：主要なプロジェクト、研究力の向上、本部機能強化に係る業務。
リソースの約90%をカバー

マネジメント改革 ~組織の見直し~

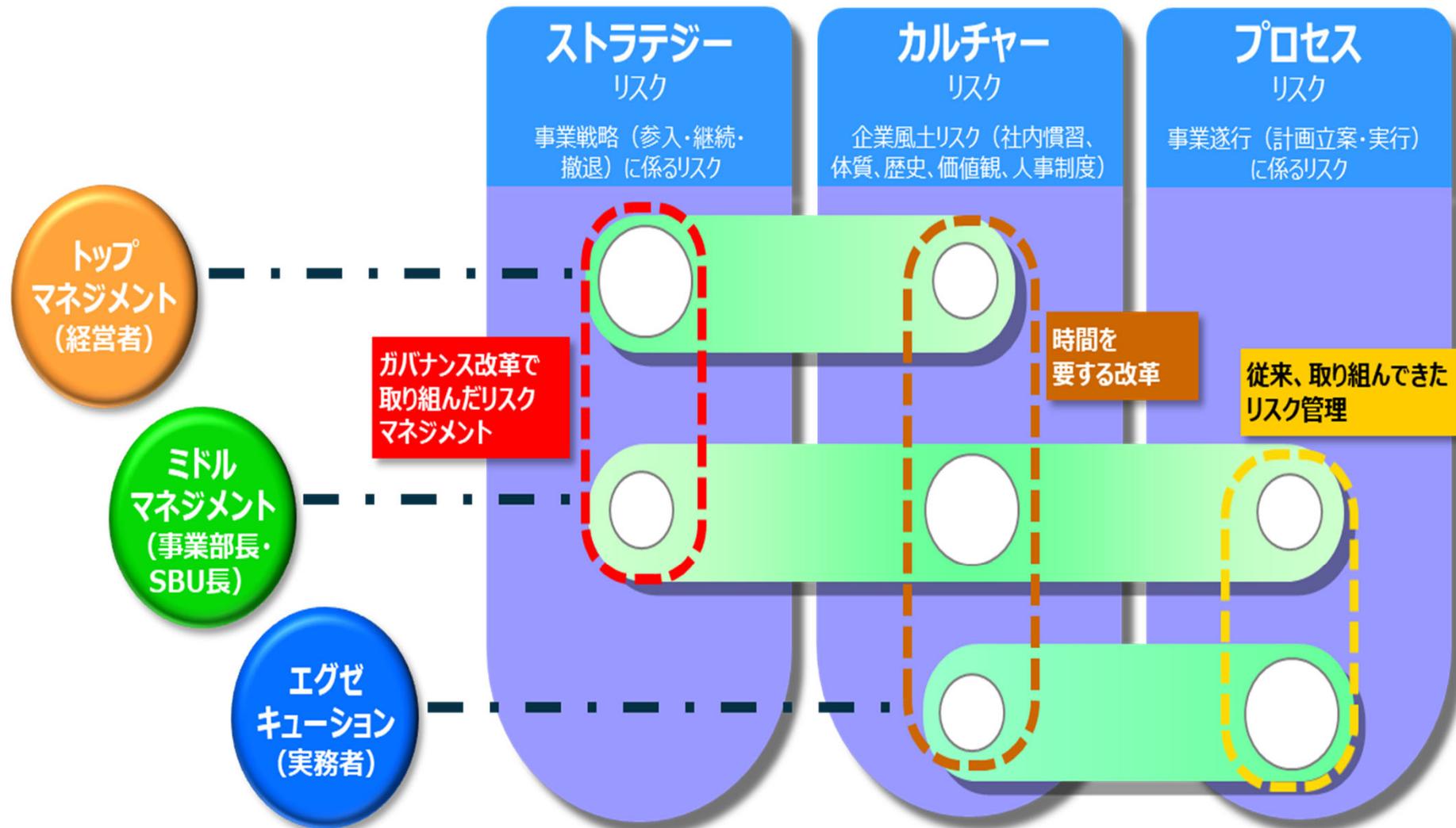
○世の中の変化・ニーズに迅速に対応し、Valueを創出する組織への見直しを検討

- 経営と管理の分離
- 本部機能を強化と意思決定の迅速化



マネジメント改革 ~リスクマネジメントの強化~

- リスクマネジメントは経営そのものであり、経営の良し悪しがリスクマネジメントの良し悪しに直結
- 各階層に応じた視点によるリスクマネジメントの実施



○原子力の未来を担う次世代人材の育成強化

【経営人材プログラム】

- ・将来の経営者を担える人材を少数精鋭で選抜し、経営者としての自覚と責任感を植え付け、自身の意思で己の市場価値を高める「自立型人材」を育成することを目的に、経営人材育成プログラム（Salamander Project）を開講



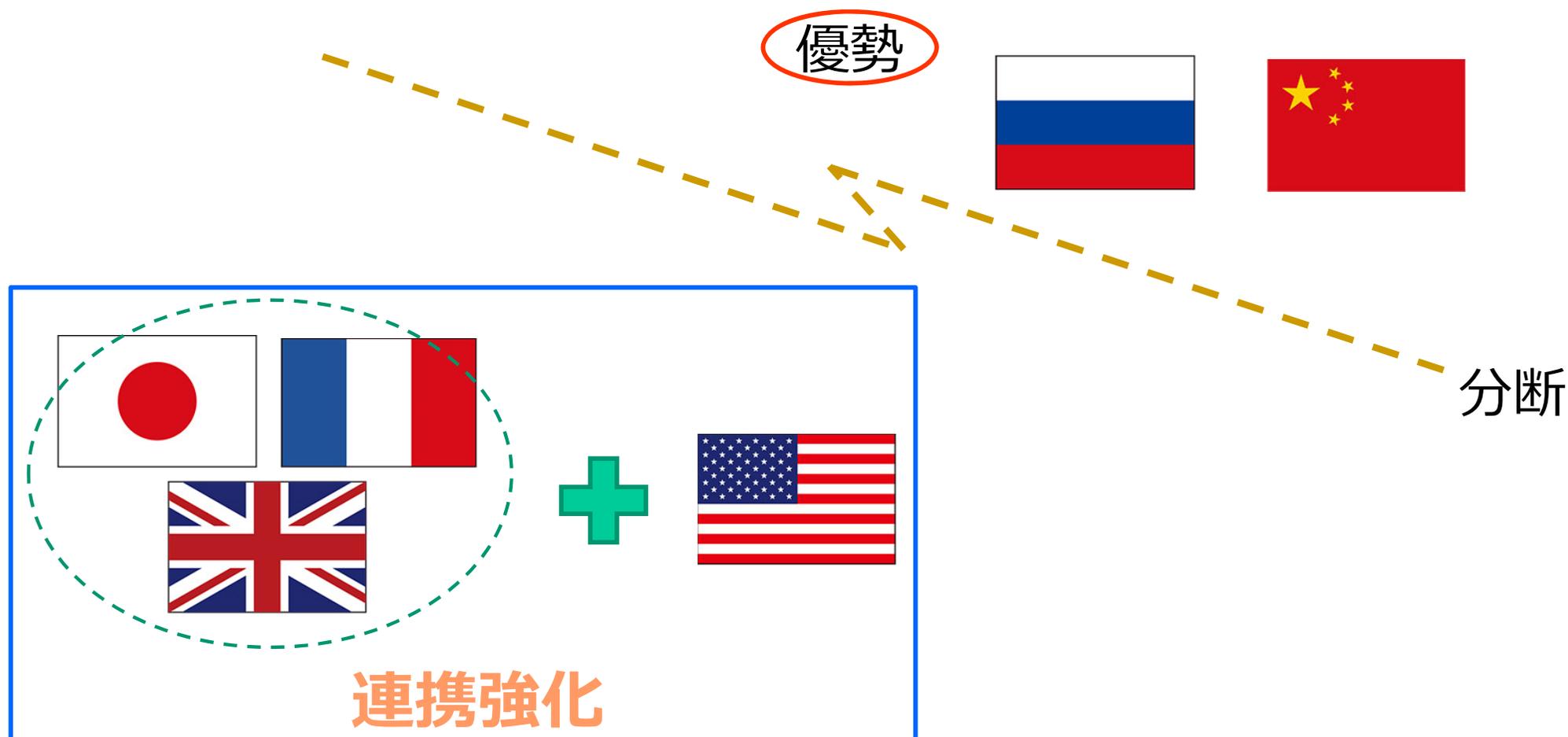
【技術継承の強化】

- ・熟練技術者の退職を見据えた若手技術者への技術継承として、熟練技術者を講師とする人材開発スクール（仮称）の設置を進め、人材育成の強化を検討

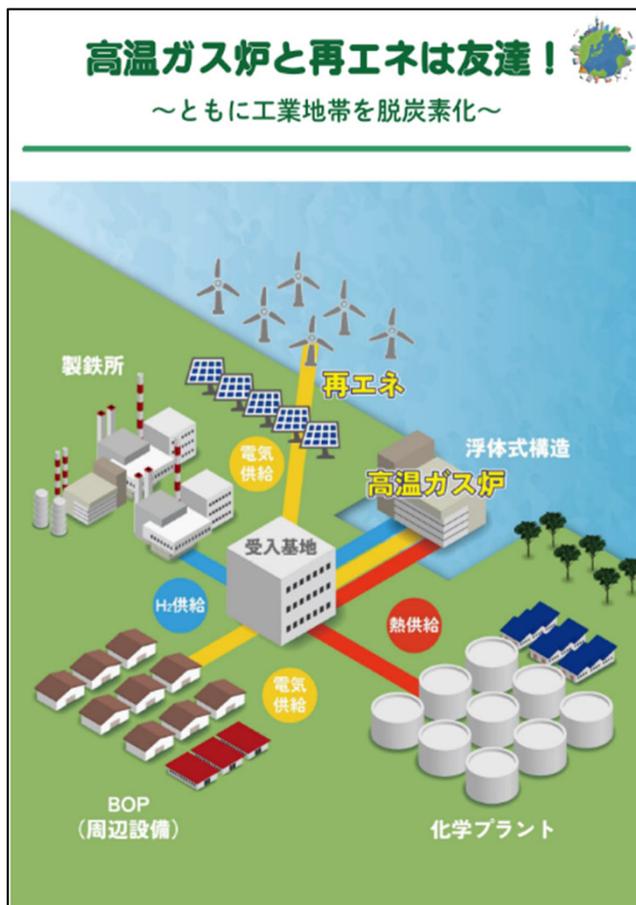
【若手、女性研究者・技術者の人材確保・育成】

- ・経営理念、3つの研究開発方針の下、SNSによる若手研究・技術者の紹介やインターンシップ、幅広い学科・専攻への役職員によるリクルート活動等を行い、原子力に夢と希望を抱く人材の確保に向けた採用活動を実施
- ・新たな目線や発想で組織運営を担うために若手や女性職員の積極的登用や、女性対象の公募（厚生労働省が推進する「ポジティブ・アクション」）、女性職員等が働きやすい職場環境の整備などを実施し、長期的な観点で女性職員比率を高めるための人材確保・育成を推進

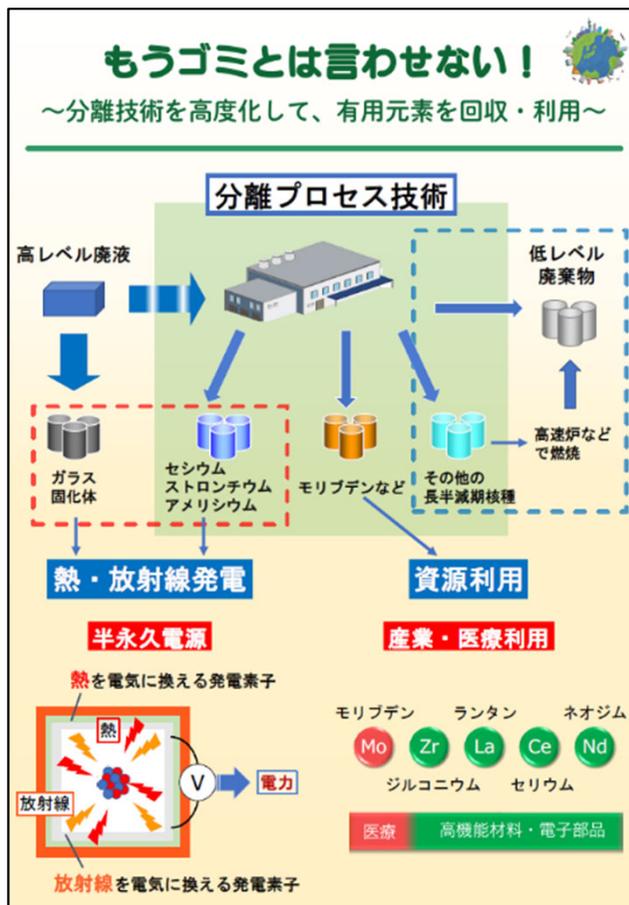
- 原子力科学技術の開発は中露と西側諸国で分断が発生
 - 積極的に投資を継続してきた**中露**が**技術開発、リソースにおいて優勢**な状況
- 西側諸国として、**日英仏米の連携が必須**
- 特に、西側諸国で突出した米国と対等に交渉するためには、**日英仏の連携**が非常に重要



○図・写真等を使い、視覚的にわかりやすい情報発信を積極的に実施



高温ガス炉開発 (Synergy)



分離プロセス技術の高度化 (Sustainable)



医療用RI製造 (Ubiquitous)

○その他、若年層へ効果的である動画やSNSに、若手研究者が出演するコンテンツを掲載するなど、訴求対象者が身近に感じられることを意識した取組を実施

前回会議でいただいたご意見に対する主な対応

ご意見	機構の対応 (説明ページタイトル)
【社会とのコミュニケーション】	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会への新しい夢の提供 ・デメリットも含めた両面的なコミュニケーションの実施 ・リスクマネジメントの強化 	ビジョンの明確化 マネジメント改革 社会に分かりやすい情報発信
【人材育成】	
<ul style="list-style-type: none"> ・女性、若手の人材確保 ・若い世代の興味関心が高まる分かりやすい説明 ・女性視点からのリスクコミュニケーション人材の育成 ・現場のモチベーションが向上する取組の実施 	ビジョンの明確化 人材育成 社会に分かりやすい情報発信
【新しい分野の取組】	
<ul style="list-style-type: none"> ・スタートアップとの積極的な連携 	有用元素の分離技術（議題2）
【社会実装、戦略的不可欠性】	
<ul style="list-style-type: none"> ・社会実装を想定したコミュニケーション、研究開発の精緻化 ・国際連携における日本技術の不可欠性の強化 	マネジメント改革 海外戦略 社会に分かりやすい情報発信